

学校運営委員会だより No.6

委員長 土谷 隆
校長 吉田 健二

- 12月11日(木)16時30分～ 第6回 学校運営委員会開催 於：家庭科室
《出席者》 伊藤和彦 武田智博 田中賢一 土谷隆 寺内隆央 鳥海 香苗 吉田健二
(教員) 岩佐 雅子副校長 鶴田 昭彦主幹教諭 中野 かほり主幹教諭

(1) 委員長あいさつ

- ・よろしくお願いいたします。

(2) 教育活動の現況報告

- 生活指導より：安全面について継続指導しているところです。冬休みに入るので、学習用タブレットの使い方について適切に使用できるよう、ご家庭にも協力していただく。環八の『うま』が出されていない状況にあり、自動車がスクールゾーンに入ってきてしまうことから、警察に問い合わせたところ、スクールゾーンを示す看板が劣化しているため、新しくしていただく回答をいただいています。
- ◇『うま』の設置については、維持が難しくなっており、現時点では、PTA が外部委託して報償費を会費から出している。区内では『うま』出しは廃止傾向にある。
- ◇1年生のサポートについては、どのようになっていますか。
- エデュケーション・アシスタント、学校生活サポーター、笹サポさんに入っています。
- ◇3クラスになると、2クラスと比べて何か違いはありますか。
- 2クラス30人以上と比べて、目が行き届ききめ細かな対応ができますが、一方、30人以上だと子ども同士で多様な考えに触れる機会に恵まれ、人間関係を高めることができる。いずれにせよメリット・デメリットはある。現在は、学年集会を取り入れて、多くの考えに触れる機会を作っています。
- ◇スクールカウンセラーがいていただけるのはありがたい。しかし、相談したいときに話せないことがあると聞いています。常駐できると相談できる機会が増えると思うのだが、難しいですか。
- 直ちに勤務日を増やすことは難しいですが、相談室以外にも相談窓口があるので、日ごろから紹介しています。また、長期休業日ことを紹介していきます。
- 校長より：学芸発表会を通して、子どもたちが大きく成長したと感じています。12日は笹の子まつりがあります。縦割り班活動で、その学年なりの役割を果たす経験する機会となっています。
- 来月の学校運営委員会では、来年度の学校経営方針をお示しいていきたいと思ひます。特別支援、地域連携等、教育課題は数多く挙げられています。笹原小としてポイントを絞って示していきたいと思ひます。引き続きよろしくお願いいたします。
- 笹原小は、これまで続いてきていることが、現在も継続していることが特色だと考えている。2年後、70周年を迎えるにあたり、そちらも踏まえ取り組んでいきたいです。

(3) 全体協議 ◇…委員 ○…学校

- 教務より：どんど焼きについて、時程と内容の確認です。今年度から授業内での実施。点火式の際の学年配置等は、学校側が当日の様子を見て柔軟に対応していきます。
- キャリア教育について、時程と講師等の確認です。
- ◇講師の人数は、11名。控室としていた理科室も教室にすると実施可能になります。
- キャリア教室の講師の方へのお知らせについては、学校が準備し、鳥海委員を通してお渡しします。
- ◇学校関係者評価の結果については、次回の委員会で検討しますか。
- 次回の委員会では、今年度の結果をもとに考察検討中ですので、2月の委員会で示すことができます。
- ◇来年度から始まる『学校運営協議会』という仕組みについて教えてください。
- 本校は、学校運営委員会の方に学校運営協議会のメンバーになっていただいて、学習支援の会等を実行チームとして進めていけたらと考えています。
- ◇12月26日(金)「ささはらこどもフェスタ」子どもの居場所として笹原小体育館にて開催します。

★次回、令和7年度 第7回学校運営委員会の開催について

令和8年1月22日(木)16時30分から <於：家庭科室>